

以下、本文-----

基底核胚細胞腫の臨床症状に関する多施設共同後方視的研究

1. 研究の対象

施設：秋田大学医学部附属病院、北海道大学病院、東北大学病院、あいち小児保健医療総合センター、長崎大学病院、宮崎大学医学部附属病院、札幌医科大学附属病院

2003年4月～2018年9月までに上記の共同研究施設で診断された基底核胚細胞腫の患者さんで診断時年齢が12歳未満の方を対象としています。

2. 研究目的・方法

○目的

胚細胞腫は小児で発症する脳腫瘍のひとつです。この病気では腫瘍の部位や種類によって、ホルモン異常による症状があらわれることがあります。急激に思春期変化がおこることがありますが痛みなどは伴わないため気づきにくいこともあります。しかし、腫瘍の早期発見のためには、このような内分泌症状の変化にも注意することが大切です。

この研究では、胚細胞腫のなかで発生部位が基底核と診断された患者さんがどのような内分泌症状を発症していたかを調べてまとめることで、この病気の早期発見につながることを目的としています。

研究期間は倫理委員会承認日から2021年3月31日までです。

○方法

患者さんのカルテ（診療録）から情報を収集し、病気の背景、最初に受診した時の情報、初診時のホルモン検査や成長記録などを調査項目とします。これらを検討し、腫瘍の発生部位ごとに臨床症状との関連をまとめます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者基本情報（生年月、初診時年齢）、検査所見（初診時および治療後のホルモン値変化、MRI画像による部位、サイズの変化）、治療経過（治療方法や治療期間、治療終了後の経過）

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

秋田大学医学部附属病院小児科	高橋 郁子
北海道大学病院小児科	中村明枝
東北大学病院小児科	藤原幾磨
あいち小児保健医療総合センター小児科	濱島 崇
長崎大学病院小児科	伊達木澄人
宮崎大学医学部附属病院小児科	澤田浩武
札幌医科大学附属病院小児科	鎌崎穂高

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：濱島 崇

所属：あいち小児保健医療総合センター 内分泌代謝科

住所：愛知県大府市森岡町7丁目426番地

電話番号：0562-43-0500

-----以上